

年度:2020年 LOM番号:299

【褒賞申請書】

事業名称	新たな一歩～地域を牽引する自覚と行動力をもつリーダーへ～
カテゴリー	最優秀LOM個人能力開発プログラム

申請LOM	東北地区山形ブロック公益社団法人新庄青年会議所
LOMの人数	39名
理事長名	辺見孝太
担当者名	矢作有也
担当者携帯番号	090-5185-2117 担当者Mail woridkikaku-y@sea.plala.or.jp
事務局住所	〒996-0022 山形県新庄市住吉町3-8
事務局TEL	0233-22-6855 事務局FAX 0233-22-6857

本事業の参加者	会員数	39名(内参加者27名)
	関係者数	3名
	一般参加者数	7名
事業実施に至る背景 400文字程度	我々の運動において全てのメンバーが同じ方向に向かい行動を起こすことが重要であり、現状はメンバーのJC運動に対する意識に差があります。メンバー一人ひとりが自主的に新たな一歩を踏み出す成長の機会が必要です。	
事業目的 400文字程度	<p>(対内)メンバーがJCについて理解し、自分自身の行動で地域をよりよくしていく熱い想いを育み地域を牽引する自覚と行動力をもつ人材の育成を目的とします。</p> <p>(対外)JCについて知るきっかけをつくり、自分自身の行動で地域をよりよくしていく熱い想いを育みJCに入会していただくことを目的とします。</p>	
SDG'sの該当項目	<p>(SDG'sの該当項目を記載)</p> <p>4 すべての人に包摂的かつ公正で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。</p> <p>4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、ディーセント・</p>	

	<p>ワークおよび起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。</p> <p>本セミナーを通じて、地域を牽引する自覚と行動力をもつ人材の育成に寄与します。</p>
--	---

<p><b>事業概要</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>会員育成事業として山形ブロック協議会会長及び経験者を3名お迎えし、パネルディスカッション形式で開催しました。</p> <p>タイトルは 「新たなる一歩～地域を牽引する自覚と行動力をもつリーダーへ～」</p> <p>現役メンバー、会員候補者にJCIについて理解してもらえる設問と、事前にメンバーより取ったアンケートより、聞いてみたいこと等を厳選し10問の質問をパネリストのお三方にお聞きしていく形式で行いました。</p> <p>当日質問は、ぱぱコメントを活用し受け付けタイムリーな参加システムも初めて実行しました。</p> <p>山形県には開催時、新型コロナウイルスの発症者はいませんでした。安全を考慮し、参加者には作成したマニュアルを徹底して対応しました。参加に懸念を抱くメンバーのために Web 会議システムを初めて導入し参加していただきました。</p>	
<p><b>開催期間・ タイムスケジュール</b></p>	<p>2020年3月30日(月)</p> <p>時間 予定:18:30~20:00 (開場18:10)</p>	
<p><b>開催場所</b></p>	<p>■新庄市民プラザ 3F 小ホール</p> <p>山形県新庄市大手町1-60</p>	
<p><b>事業区分</b></p>	<p>会員育成事業</p>	
<p><b>公益・共益区分</b></p>	<p>無</p>	
<p><b>事業総予算・収支</b></p>	<p>予算 ¥9,930</p> <p>収益 ¥0-</p>	
<p><b>協力団体</b></p>	<p>パネリスト</p>	<p>第53代(2020年度)山形ブロック協議会会長 奥山恵治 君</p> <p>第52代(2019年度)山形ブロック協議会会長 西方茂太 君</p> <p>第49代(2016年度)山形ブロック協議会会長 山科慎治 先輩</p>
<p><b>事業対象者</b></p>	<p>新庄青年会議所メンバー並びに入会候補者</p>	

<p>行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度</p>	<p>①事前アンケートをとりメンバーの意識調査を行いました。 ②山形ブロック会長及び経験者のお三方にパネリストとしていただき、JCについての幅広い質問に対してお話しいただきました。 ③事業後アンケートで本事業の検証をしました。</p>
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>①事前アンケート メンバーの71.7%(28人) ②参加していただいた、またはユーチューブ配信をご覧いただきアンケートに答えていただいたメンバーへ「JCについて理解が深まりましたか?」と質問したところ、回答の90%以上が「とても深まった」「少し深まった」、「今回の講演を通して、自らの行動で地域をよりよくしていきたいと思いましたか?」と質問したところ、回答の96%以上が「強く思った」「少し思った」となっており、地域を牽引する自覚が個々に生まれたと考えます。 ③事後アンケート メンバーの61.5%(24人) 候補者の100%(7人)</p>

<p>地域社会への影響 400文字程度</p>	<p>新庄もがみ地域は若者世代が減り、人口減少も進む地域です。そのようなまちにこそ地域を自分の行動で引っ張っていくのだという自覚を持った多くの青年が必要だと考えます。本事業は、会員候補者として行政からもご参加いただきました。JCという場だけでなく、様々な場所で活躍されている方々にもJC運動の理解を得られたこと、そして個々の地域への想いと、JCとの友好的な関係も構築されたと考えます。</p>
<p>LOMへの影響 400文字程度</p>	<p>山形ブロック協議会会長を経験されている又は経験された方々を3名お招きしてのパネルディスカッション形式の事業は事業を構築する上でのヒントや我々の運動の意義、そして役職をうける決意等様々な観点からお話をいただき、参加いただいた全員の学びの機会となりました。3月例会以降の事業形成に良い影響を与えることができたと思います。</p>

<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>3名のブロック会長及び経験者の皆様に、経験談を通した力強いメッセージをいただいたことにより、事業に参加したメンバーと、候補者の、自信とモチベーションに繋がり、積極的に事業に参加する意欲が見え、運動がより力強く実施されています。本年度のみならずしっかりとお声がけを行い続けることで、より多くの人を巻き込み JC 運動を展開していけると考えます。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>大きな覚悟を持ってJC活動を実行してきた方の言葉は、JC歴の浅いメンバー並びに入会候補者に心を突き動かす原動力となります。今後は対象を全体と広げず、継続して展開できればJC歴の浅いメンバーの育成と拡大が同時にできるため非常に効率の良い事業となりと共に、熟練メンバーに対してブロック会長をお呼びした別事業も展開することにより、LOMだけにとどまらない意思のある事業を実行できると考えます。</p>
<p>改善点</p>	<p>ブロック会長経験者3名とメンバーや候補者の間で深い意見交換をするための仕掛けを検討するとより良かったと考えます。</p> <p>事業を構築する上で、最も影響を受けてほしい人(候補者や経験の浅いメンバー)を明確にして、内容を組み立てるとより効果的になると考えます</p>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <p>青年の育成による地域社会への貢献</p>
<p>添付資料</p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>事業風景写真</p>

## (AWARDS TOHOKU 2020 申請概要)

公益社団法人新庄青年会議所 2020年度 会員拡大陣頭委員会 委員長 矢作 有也

## 新たなる一歩

### ～地域を牽引する自覚と行動力をもつリーダーへ～

公益社団法人新庄青年会議所は2020年3月30日月曜日に、新たなる一歩～地域を牽引する自覚と行動力をもつリーダーへ～を市民プラザ(山形県新庄市)にて行いました。詳細につきましては、下記内容をご覧ください。

この新たなる一歩～地域を牽引する自覚と行動力をもつリーダーへ～は会員育成事業としてメンバーを対象にJCについて理解し、自分自身の行動で地域をよりよくしていく熱い想いを育み地域を牽引する自覚と行動力をもつ人財の育成を目的とし、入会候補者を対象にJCについて知るきっかけをつくり、自分自身の行動で地域をよりよくしていく熱い想いを育みJCに入会していただくことを目的として開催されました。当日はメンバー26名、候補者7名に参加いただき、多くの方々にJC運動の理解と、自身の行動で地域をより良くしていきたい想いを育めたという結果、目的を達成することができました。

#### 新たなる一歩

#### ～地域を牽引する自覚と行動力をもつリーダーへ～

##### 詳細な事業内容

期日:令和2年3月30日(月)18:30～20:00

会場:市民プラザ 3F 小ホール(山形県新庄市)

(事業内容)

##### ●事前アンケートの実施

事前に JC 運動に対する意識を把握し、講師との打ち合わせや事業の効果を測るために行った。JC 運動への意識の差があることが浮き彫りとなりパネリストと意識改革できる内容を精査した。

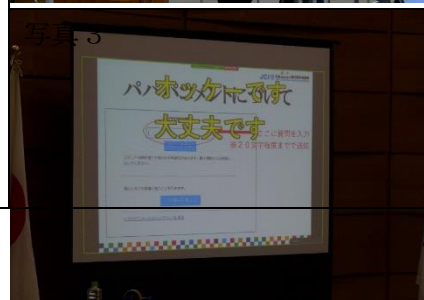
##### ●パネルディスカッションの内容

パネリストに2020年度山形ブロック協議会会長奥山恵治君、2019年度山形ブロック協議会会長西方茂太君、2016年度山形ブロック協議会会長山科慎治先輩をお迎えし、コーディネーターに2020年度直前理事長の小野善弘君を選出。入会候補者やJC歴の浅いメンバーへ向けた「JCとは？」から始まり、事業について、

写真1



写真2



地域をより良くするためには等、在籍年数の長いメンバーへも成長や気づきの機会を提供。

●結果

参加いただけたメンバーや候補者の皆様には、3名のブロック会長経験者にJCの魅力や地域への想い、個人の決意等、様々な内容の経験談を伝えていただき、参加者の多くの方々にJC運動の理解と、自身の行動で地域をより良くしていきたい想いを育むことができた。









